

# 西宮市ライブミュージックスポット動画制作について



西宮市の市内に点在する 20 数カ所のライブスポットの紹介動画を作成し、西宮市 HP を通じて情報発信する。

## 1. 動画制作の目的

### a. 地域社会に向けたネットを用いた情報発信と効果把握

露出度の高い西宮市役所の HP を通じて西宮市民を中心に情報発信をおこない、効果測定を行う。ネット社会に知名度も実績もない私たちが、半年や 1 年間、情報発信しても、さまざまな情報が渦巻くネット社会の中で埋没するのがオチである。そこでこのプロジェクトでは「西宮市」という地方自治体の看板を借りて情報発信を行う。

### b. 文化仲介者という概念を道具としてライブハウスを分析する

イギリスの音楽学者キース・ニーガスは、音楽産業（生産プロセス）と聴衆（消費プロセス）の仲立ちをする機能として「文化仲介者」という概念を考案している。この文化仲介者という概念を道具として用い、地域のライブハウスと地域活性化との関わりについて参与観察する。

## 2. 西宮市のプロフィール



兵庫県南東部の大坂と神戸の中間にある。隣接する芦屋市とともに、高級住宅街とされる街区が多い。人口は約 48 万人（東大阪市は約 49 万人）。SUUMO の「住みたい自治体ランキング（関西版）2021」では 1 位。西宮市出身の著名人は、村上春樹、あいみょん、芦田愛菜 ほか多数。

### 歴史

明治の末以降、農・漁村だったこの地に大阪の船場商人や企業経営者が別荘を建てだし、阪神電鉄は健康保養地として売り出すようになる。JR、阪神、阪急線開通後は食料品、化学、鉄鋼などの工業が進出。住宅地化も進み、大阪、神戸の住宅・工業衛星都市となった。

### 文化

大阪の経済と伝統文化と、神戸の異国文化の間で、伝統とハイカラが共存する芸術文化や建築、生活様式が生まれた。これらは後年、「阪神間モダニズム」と総称されるようになった。昭和 35 年に生じた石油コンビナート誘致問題をめぐり、工場誘致派と環境保護派に市を二分する論争を経て、昭和 38 年に「文教住宅都市」を宣言した。

### 音楽環境

管弦楽団を擁する兵庫県立芸術文化センターがあり、神戸女学院大学や武庫川女子大学音楽系学部がある。また市内には 20 数カ所のライブスポットや文化センターがあり、クラシックからポップスまでさまざまな音楽実践が各所で行われている。

## 3. 西宮市のライブスポット



マップ制作：桑島ゼミ

### ライブハウス型

常時ライブ演奏が行われる。経営者は演奏者でもあることが多い。

イエローリボン、トレノイズ、RJ&BME'S、スリーコーズ、ピアノクラブ、フォートワース、フラッパーハウス、あかねちゃん、ペンギン、キャラバン、ダートマスクラブ、沖田バー、アンクルジャム

### パブ・カフェ型

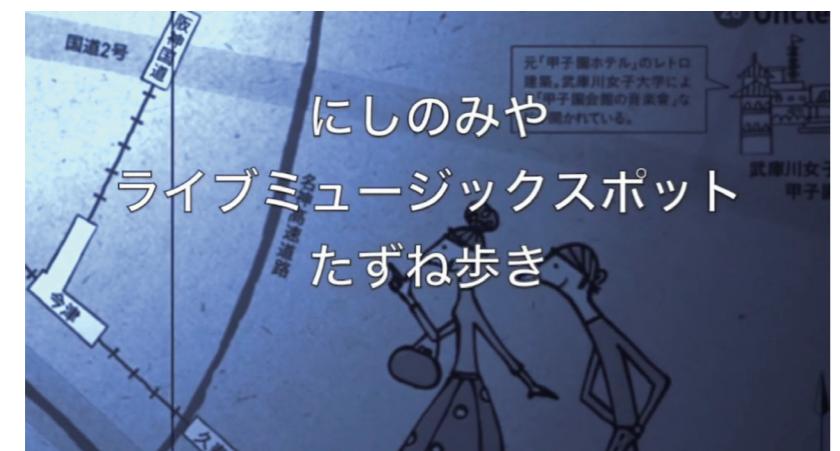
通常は飲食店として営業されており、不定期でライブ演奏が行われる。

ビュイッチ、アルフェッカ、WEX、オコナ、カフ、ゴールウェイ、ペタル、Dog House Funasaka

### スタジオ型

リハーサル・レコーディングスタジオや教室にライブスペースが併設され、不定期でライブ演奏が行われる。スタジオや教室の利用者が主な演奏者。バードランド、ヌーヴー、モンジャクシン、第三絃なかにし

## 4. 動画「にしのみやライブミュージックスポットたずね歩き」



お店の方にインタビュー

ライブを撮影することも



ゼミ生がナビゲート

ゼミ生がナビゲーター役となり西宮のライブハウスを訪ね歩く。お店の方にインタビューを行い、演奏風景で締めくくられ、各スポットにつき 4 分ほどで構成されている。撮影から編集まで、スマホでおこなう。

お店の雰囲気や演奏内容がわかるので、はじめてのお店でも入りやすいと評判を呼んでいる。今年度から来年度前期にかけて全箇所完成予定。



# 2021 年桑島ゼミナールの活動